

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:2020年3月6日

事業所名 大阪発達総合療育センター あさしお園

	チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	はい	使用目的・人数に応じて、部屋を工夫して使用しています。個室環境も整えました。	給食時に開放できるスペースの掲示と使い方についてお伝えしていきます。
	2 職員の配置数は適切である	はい	法令を遵守し、支援内容に応じて職員体制を工夫しています。	利用児の特性が多様化しており、支援内容に応じて、適切な職種の人員配置などを継続して法人と相談していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	はい	掲示板や連絡メール、配布物で情報伝達をしている。子どもの靴箱や物入がわかりやすい工夫をしています。	見てわかりやすい環境調整を引き続き工夫していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	はい	活動に応じて、部屋環境を整えている。	新たな倉庫の設置や、整理整頓を心掛け、快適な空間を作っていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	はい	法人としてPDCAサイクルの流れにのっとり支援を行うよう心掛けています。目標の説明、振り返りを多職種と保護者で定期的に行っています。	PDCAサイクルに基づいた業務が定着していけるよう、特に振り返りに力を入れていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	はい	評価表でいただいた保護者からの希望を、事業所内で共有し、改善していくようにしています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	はい	評価結果は施設内に掲示し、法人のホームページにも掲載しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	いいえ		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	はい	内部・外部研修の受講、多職種での事例検討も行っています。	年3回の事例検討会を開催する予定です。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	はい	家族、関係機関からの情報収集、多職種による評価を行い支援計画に反映させています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	はい	標準化されたアセスメントツールも使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	はい	発達支援、家族支援、移行支援を柱とし、多職種共同で計画を立てています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	はい		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	はい		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	はい	年齢、季節、運動機能などを考えあわせ、段階的に成功経験が積めるようにも工夫しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	はい		
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	はい			

	チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	はい	クラス担当者だけでなく、多職種とも情報を共有するようにしています。	
	19	はい		ビデオなどを活用し、検証しやすい工夫をしています。
	20	はい	年に2回はかならず多職種で開催しています。それ以外にも保護者のご希望に応じて支援計画の見直しを行います。	
関係機関や保護者との連携	21	はい	課題に応じて適切な職種が参加できるようにしています。	昨年度以上にサービス担当者会議に参画できるようにしていきます。
	22	はい		
	23	はい	子どもと家族の必要性に応じて地域の担当保健師、主治医、機関病院の地域連携室、保育所、幼稚園、児童デイサービス、教育機関など子どもと関わる機関との連携に努めております。医療的ケアが必要な子どもさんにも楽しく遊ぶ時間やリラックスできる時間、生活の支援方法などを検討し、地域や保護者と共通理解を図っています。	
	24	はい		
	25	はい	移行支援として、在園中より移行先と連携を取り合い、具体的支援方法、リスク管理などを実際の場面で伝達しています。移行後は保護者からの希望に沿って、移行先への訪問により、さらに発達を促せるよう情報共有と相互理解を図っています。	地域生活に沿った現実的具体的支援ができるよう研鑽していきます。
	26	はい		
	27	はい		
	28	はい	地域保育所との交流をクラスごとに年に1から2回行っています。	保護者に交流の意義を理解していただき、積極的な参加をお勧めしていきます。
	29	はい	今年度より参画し始め、情報交換、交流をおこなっています。	自立支援協議会を通じて、利用者の生活が送りやすくなるよう参画していきます。
	30	はい	常に、保護者に説明し意見交換しあい、支援を行うようにしています。	さらに丁寧に保護者とお話し、家庭や地域に活かせる支援をお伝えしていきます。
保護者	31	はい	保護者研修会の中に織り込んでいます。	保護者のニーズに応じた、家族支援を計画していきます。
	32	はい	契約にあたり、ご説明やご質問について個別での対応も行ってまいります。	
	33	はい	家族の希望をお聞きし、多職種で行ったアセスメントをもとに個別支援計画を立案し、保護者に説明し同意を得ています。	
	34	はい	支援の前後などにもお声かけするよう心がけています。	行事としてママカフェの開催を企画します。
	35	はい		保護者と相談し父母会の開催頻度を見直していきます。

	チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
各 へ の 説 明 責 任 等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	はい	全職員が保護者のご相談に真摯に向き合い、報連相により迅速に対応できるよう周知しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	はい	定期的に園便りを発行し、活動や行事の予定を提示しています。法人の広報誌にも、近況を掲載するようにしております。	連絡メールを活用し、迅速に情報共有ができるようにしていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	はい	契約時に書面で確認させていただき、都度においてもご説明し、了解いただいております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	はい	それぞれのコミュニケーション力に応じて見せ方、話し方、スイッチなど工夫しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	いいえ	年に2回地域の方にご協力いただき、行事を行っています。	
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	はい	避難訓練を年に2回実施しております。各種マニュアルを保護者控室で閲覧できるようにしています。	各種マニュアルは策定しておりますので、保護者への周知について検討いたします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	はい		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	はい	入所時に服薬やアレルギーの有無、予防接種などの情報収集を行い、随時医師の指示に基づき看護師が対応しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	はい		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	はい	職員全体で共有するようしております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	はい	毎年研修を開催しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	はい	安全上必要な身体拘束については、個別支援計画に具体的に明記し、支援終了後に不適切な対応がなかったかを、保護者に説明し同意を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。